



Quick調査レポート「湿布薬と保険給付に関する調査」

Topics

- ✓ 整形外科クリニック勤務医の4割以上は、第一世代外用消炎鎮痛剤（湿布薬）を処方していない
- ✓ 第一世代湿布薬の処方患者割合は、患者の年代が上がるにつれて高くなる傾向にある
- ✓ 今後、第一世代湿布薬が保険給付対象外になった場合、約6割がOTCへの移行を想定している
- ✓ 約4割は、第一世代湿布薬が保険給付対象外となることに反対している

調査背景・目的

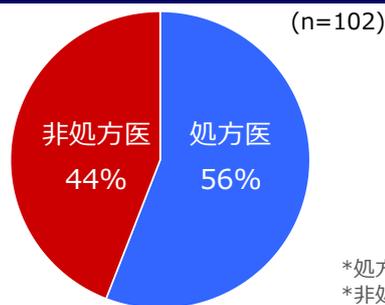
- ✓ 今年3月に開催された政府の規制改革会議 健康・医療ワーキンググループにおいて、健康保険組合連合会が第一世代の外用消炎鎮痛剤（湿布薬）を保険給付から外すとともに、処方に一定の上限を設けることを提言。
- ✓ GP整形外科に対し、第一世代湿布薬の処方実態と、保険給付対象外とすることへの考えを確認する。

調査概要

調査方法：インターネット調査（MyQuick使用） 有効回答：102サンプル
 調査地域：全国 調査期間：2015年7月21日～7月23日
 調査対象：GP（19床以下）整形外科 調査機関：株式会社アンテリオ Quick Survey室

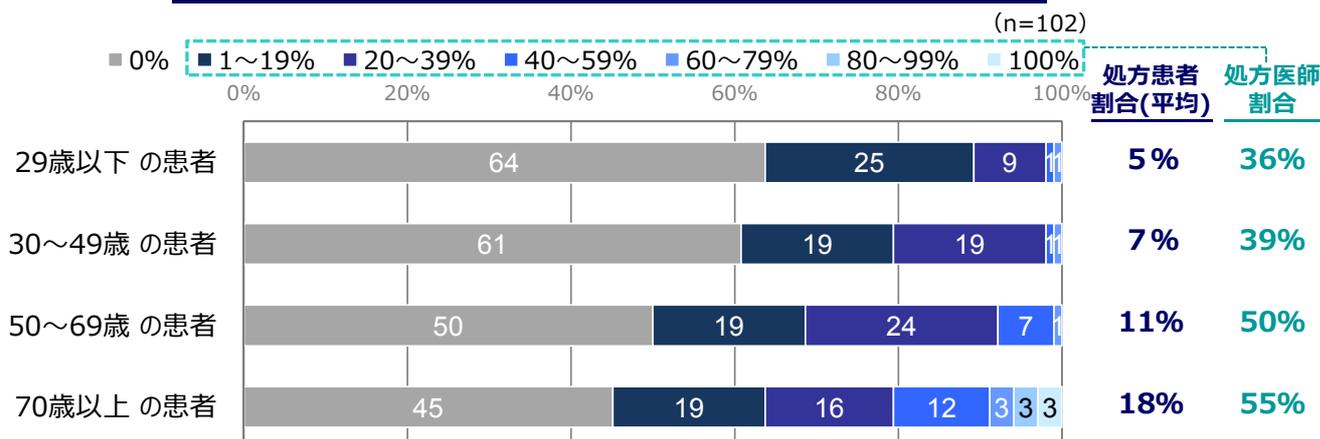
調査結果

第一世代湿布薬の処方/非処方医師割合



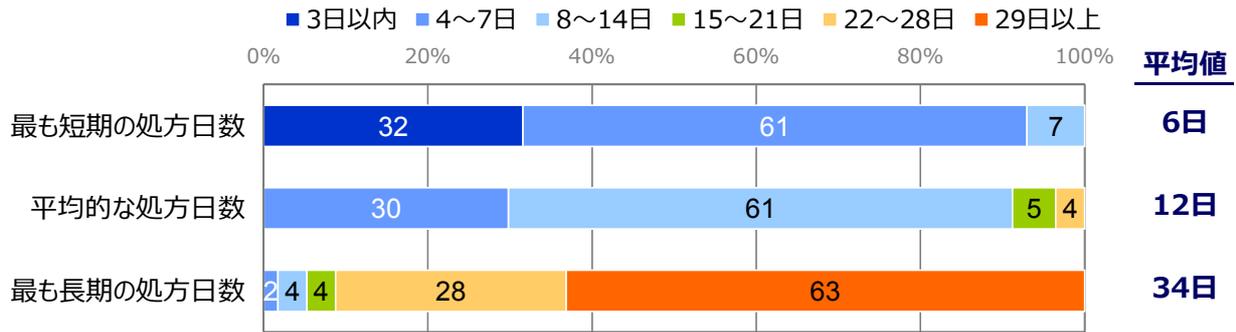
*処方医：いずれかの年代の患者に処方している医師
 *非処方医：どの年代の患者にも処方していない医師

【患者の年代別】第一世代湿布薬の処方患者割合（全体）



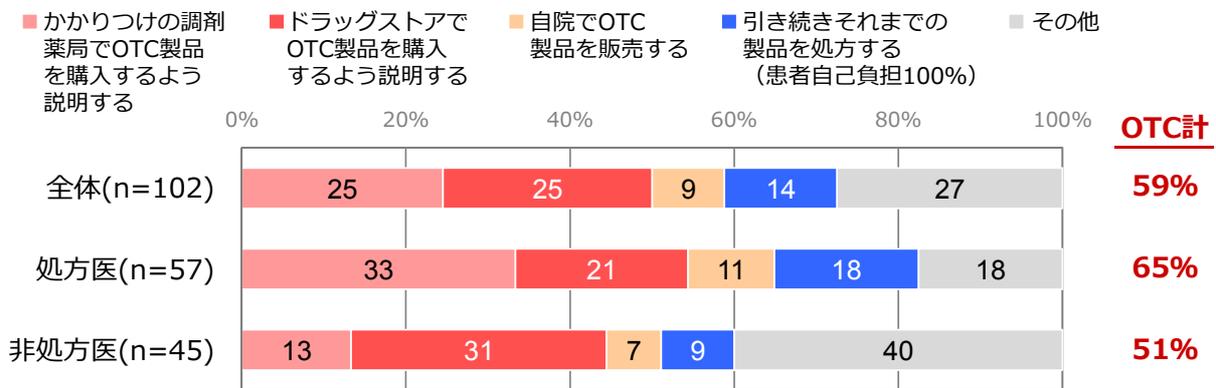
【条件別】 第一世代湿布薬の処方日数（全体）

*いずれかの年代の患者に第一世代湿布薬を処方している医師ベース (n=57)



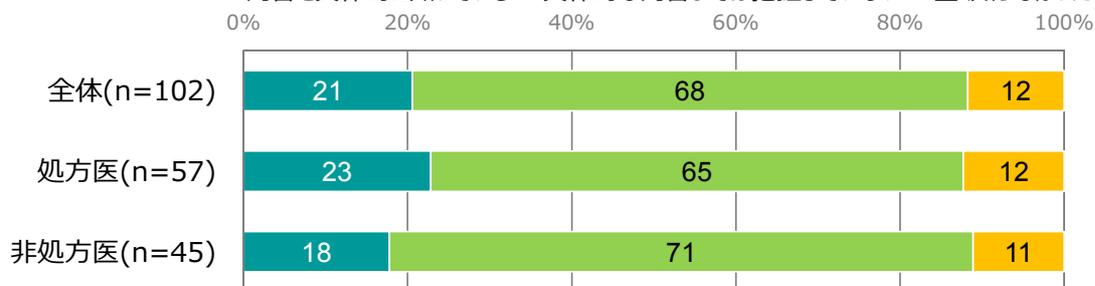
第一世代湿布薬が保険給付対象外になった場合の対応

*いずれの対応方法も可能だった場合を想定しての回答



第一世代湿布薬を保険給付対象外とする提言の認知度

■ 内容を具体的に知っている ■ 具体的な内容までは把握していない ■ 全く知らなかった



市販品類似薬を保険給付の対象外とすることに対する考え

